



藤枝市平島にて

目次

あいさつ 造園緑化協会の活躍に期待する P2 <small>静岡県知事 石川嘉延</small>	委員会だより P7 安全パトロールを実施 しずおか緑・花・祭員協会PRパンフレット作成等を協議 シニアワークショッププログラム造園緑化コース六会場終了
賀詞交歓会盛大に開催 P3	支部だより P8 西部地区 県小笠山総合運動公園を花の園地
しずおか緑・花・祭 出展準備進む P4	水琴窟の秘密 P9 (有)小澤庭苑研究所 小澤 達
しずおか緑・花・祭 静岡県造園 施工管理技士会でボランティアガイド P4~5	お知らせコーナー P10 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可 申請に関する講習会(更新用)のお知らせ
フラワー&ガーデニングフェア盛大に開催 P5	平成13年度県関係予算 P11
緑化技術講習会の開催 P6	話題の森・お知らせ・編集後記 P12
本部だより P6 フラワー&ガーデニングフェア会場で理事会を開催	

造園緑化協会の活躍に期待する



静岡県知事 石川嘉延

社団法人静岡県造園緑化協会の皆様には、日ごろから本県の環境緑化行政の推進に御支援をいただき、感謝申し上げます。

特に、「二十一世紀のスタートを飾る本年、4月21日から吉田町において開催いたします「二〇〇一年しずおか緑・花・祭」には格段の御協力を賜り、改めてお礼申し上げます。

このイベントは、静岡県から全国に向けて、「しずおか」らしさと洗練された花や緑を育む文化を発信していく本格的なガーデンショーであります。とりわけ、我が国で初めて行われる「ワールド・ガーデン・コンペティション」は、海外と日本のガーデンデザイナーがその技を競い合う大変賞

の高い企画で、県内外はもとより、国内外の造園や緑化関係者にとって大きな刺激になるものと期待されます。また、地域の花関連産業の振興にも大いに役立つものと考えております。

貴協会におかれましては、「ワールド・ガーデン・コンペティション」に協会として参加されるほか、多くの会員の皆様も個別に参加いただけるものと伺っております。会場の設計・施工・管理などにつきましても、多大な御支援、御協力をいただいております、感謝いたします。

この「緑・花・祭」は、県民の皆様には、花や緑のある心豊かな暮らしを提案するとともに、美しい地域づくりや自然環境保全に向けて「行動する」ことの意義を訴えていくもので、緑化思想の浸透に大きな効果があるものと確信しております。

社団法人静岡県造園緑化協会におかれましては、県事業への御支援、御協力を引き続きお願い申し上げますとともに、今後ますますの御発展と御活躍を御期待申し上げます。

樹木余話

■ムラサキハシドイ(モクセイ科)

ヨーロッパ原産の落葉小高木。高さは3〜6m、5月頃芳香のある薄紫色の花を開く。八重咲きや、花色が白、藤色から濃紫色にわたる多くの園芸品種が作り出されている。シャンソンで有名な「リラの花咲く頃……」と歌われた「リラ」はこのムラサキハシドイのフランス名、ライラックはイギリス名。ムラサキハシドイよりライラックやリラのほうがとおりがよいようだ。



賀詞交歓会盛大に開催

本年は組織も新たに変わった国土交通省 静岡国道工事事務所 所長 池田豊人氏、菊池忍県環境部長、片山淳三県都市住宅部長、顧問の曾根恵津広真議会議員らをはじめ、国、県、公社、関係団体等多数の御臨席を得て、一月十八日、午前十一時半から静岡市紺屋町ブエ東海静岡において盛大に開催した。

乗松文男副会長の開会の辞
のあと、西野勢作会長が「二十
一世紀の幕開けとなった今年

は、明治維新にも似た大変革の
年になるだろう。二十世紀は
環境を破壊して発展してきた
が、二十一世紀
はそれを修復
する世紀にな
ればならな
い。いわゆる環
境の時代で、
我々業界はそ
の一翼を担つて
おり、環境改善
に貢献する絶
好の機会であ
る。目前にせま
った「しずおか
緑・花・祭」も
社会の追風を
受ける中で心
意気を見せる
場である。協会

挨拶する西野会長

も、平成の維新を的確にとら
え、プラス志向で対応してい
きたい。最後に七月の県知事選挙
では引き続き石川県政を推薦
していきたい」とあいさつ。
会長あいさつのあと、菊池忍
県環境部長、曾根恵津広顧問、
池田豊人静岡国道工事事務所
長の三名から祝辞をいただいた。
特に新しい組織発足直後
の池田氏の祝辞は会員一同、
まさに賀詞交歓会であると喜
びを新たにしていた。
三氏の祝辞のあと片山淳三
県都市住宅部長の発声で祝宴
にうつった。



祝辞の池田静岡国道工事事務所長

一年に一
度の懇談会
で、顧問の先
生方、国、県
の幹部の皆
様、関係団体
の御出席を
いただき、名
刺交換、情報
交換も出来、
なごやかな雰
囲気の中に開
催された。



高らかに乾杯



しずおか緑・花・祭出展準備進む

県から委託を請けているテーマガーデン「花の溪流大井川」は藤枝地区会員が、協会本部・各支部出展の「歩いて触れる詩歌の心」は富士地区の会員が三月末竣工を目指して施行中で、完成も間近か三月二十一日には「花の溪流大井川」の施工現場で、榊原八朗技術顧問を講師に招き植込みの現地研修会も開催した。

静岡県で初めて開催される「しずおか緑と花の大型イベント」に開催する。会期は四月二十一日から五月二十七日までの三十七日間、入場者は四十万人と見込んで開催される。



協会焼津地区の作品「緑の中のオープンリビング」

作品の出展のうち、三十六の作品を出展し、お

協会では、県からの委託によるテーマガーデン「花の溪流大井川」を施行するとともに、協会自らも本部、東・中・西の各支部合同で四百㎡の庭園を出展している。

会員も七十九

互い技術を競っている。出展にあたっては、一ブース50㎡では足りずに100㎡にしたり、JVで出展、あるいは藤枝や焼津地区のように協同で出展するなど、苦況の中にも工夫をしての出展が見られる。

県からの委託事業箇所では昨年十一月八日に石組み見学・研修会に続き、三月二十一日には植込みの見学・研修会を開催した。午前中は中部支部会員のみを対象に中部地区研修会が開催され、午後は県関係、東部・西部の会員を対象に行い五十五人の参加があった。

協会出展の「歩いて触れる詩

静岡県では、「しずおか緑・花・祭」を意義あるものとするため、他県の都市緑化フェアに見られなかった専門家によるガイドツアーを実施したい、ついでには造園施工管理士会でもお願いできないか」との申し入れがあり、乗松文男会長は常任理事会を開き、快諾。

早進、中部支部の会員を対象に希望を募ったところ、予想以上の反響があり、東部支部・西部支部の役員参加も含めて三十九名もの員数に達した。

本来、同じ人が一週間程度

間も会社を休むことができない。そこへ大勢の参加希望があり、一人二日のガイドで済むことになった。悩みは「ガイドに慣れたら役目が終る」でなく、慣れないうちに二日が終るということ。そのため、三月三日には県からの説明会があり、四月十六日には、現地ガイドの研修会も予定されている。また、造園緑化協会では、会員出展作品の解説を加えたガイドマップを開発に間に合うよう作成した。

このガイドツアーは、ガイド



榊原講師の説明に聞き入る受講生

る植物を主体に植込み、そのうち二〇種について解説したパンフレットを作成し、会員が当

番で来場者に配付することになったという。

しずおか緑・花・祭 静岡県造園施工管理士会で ボランティアガイド

(社)静岡県造園緑化協会に事務局を置く静岡県造園施工管理士会・乗松文男会長、会員二〇三名で緑・花の会期中、毎日二人体制で会場に詰め、庭園ガイドと緑化相談を行うことになった。

県農林水産部の花卉専門職員が担当することとなっている。約四十分で一周し午前二回、午後三回、時間を決めてツアー参加希望者を募ってスタートす

る。空き時間は「やさしさの体験工房」で園芸相談に当たることになっており、知事も「それはおもしろい」と専門家による庭園ガイドに期待されている。

フラワー&ガーデニング フェア盛大に開催

今まで県農林水産部が「花フェスティバル」と称していたイベントを庭園も加え「ふじのくにフラワー&ガーデニングフェア」と銘打って第一回が二月二十三日〜二十五日にグランシップで開催された。協会も初めて実行委員会に参画し、庭園を出展した。イベントは人気を博し、会期中、石川知事は二度も来訪、入場者も三万人で賑わった。



協会出展ブース視察の石川知事

ふじのくにフラワー&ガーデニングフェアは、JR東静岡岡崎駅接のグランシップの大ホール「海」をメインに開催された。大ホール「海」には、県内の花き生産者や団体がテーマに沿って作った大型の花ディスプレイが十四点も展示された。

春を先取りした色々な草花が会場を彩り、香りを放ち、一足早い春らん漫の雰囲気をもし出していた。その一角に、造園緑化協会も中部支部の施行で展示し、知事も視察に訪れた。

展示されたディスプレイはコンテストが行われ、初参加の協会の作品は、草花のディスプレイと異なり参考出展となったが、それだけに宣伝効果は大きなものがあつた。

大ホールではディスプレイの展示の外、切り花・鉢物の品評会と展示、花と緑のマーケット、ガーデニング教室、ハンギングバ



会場風景

スケッチ教室、フラワーアレンジ講習会等も開催され、終日賑わっていた。

日には、知事をはじめ関係者の出席のもとオープニングセレモニーが開催され、最終日は展示物のオークションで賑わった。三月二十三日には幹事会が開催され、事業報告、収支決算の承認、次回は浜松のアクティシティで平成十四年二月二十二日から二十四日まで開催することが決定された。



協会出展「サンガーデン」

緑化技術講習会の開催

例年、県と共催で開催している緑化技術講習会を二月一日、静岡市グランシップに於て会員をはじめ、県市町村関係者、さらには学会員など一六〇名の出席を得て開いた。

午前中は、世界的に活躍されているランドスケープ・ジャパン事務所の小出兼久代表の講演で、演題は「暮らしの中の庭を考える」。

「日本という国の中で庭を考えると、何時も欧米の草花という部分だけがクロイズアップされていて、全体に装飾的意味が強い。庭本来の意味や作り手、住まい手の暮らし方が表面に表われていないと感じる。環境景観と庭を考える時期にきている。また、緑・園芸への回帰日本で静岡をはじめ日本でも緑化の大型イベントが開かれている



研修会風景

が、あちらこちらを見るとイベント屋は活躍しているが、技術屋が活躍していない。だから緑・花が主体であるはずなのに他の方々焦点がいつているとも中広い範囲の講演であった。

午後は「屋上緑化の現状」と題し、和歌山大学システム工学部の山田宏之講師が「都市化の進展に伴いヒートアイランド現象など環境問題が深刻化する

中、都市化と両立する環境改善の技術が求められている。都市構造物表面上に新たな自然表面を創出する技術、即ち屋上緑化などの建築・土木構造物の緑化技術が必要になる」と述べ、スライドを使って、屋上緑化によるヒートアイランド軽減効果や屋上緑化・壁面緑化の事例紹介があった。そして「都市部には、広大な緑化対象空間が存在し、都市緑化はいろいろな可能性がある」と結ばれた。

本部だより

フラワー&ガーデニングフェア 会場で理事会を開催

初めて参画、出展した「ふじのくにフラワー&ガーデニングフェア」オープンの日の二月二十三日にグランシップで理事会を開催した。望月副会長はオープニングセレモニーにも出席。会長不在につき、乗松副会長の挨拶のあと、理事録署名名人に木下兵太郎理事、小林百二理事を遣出承認。乗松副会長が議長となり次の議題が議論され承認可決された。

① 静岡県優秀候補者について
② 静岡県優秀候補者について
③ 静岡県優秀候補者について

会員の出展の三六作品についてのみ、完結写真、コンセプト等を掲載した八ページの庭園ガイドを四万部印刷し、造園施工管理技士会が行うボランティアガイドの際、一日千部を限度に配布する。

② しずおか緑化祭協会出展の庭園で使用する樹木ガイドの作成配布について

「歩いて触れる詩歌の心」の庭に使用する樹種二十種について解説した四ページのパンフレットを四万部印刷し、庭園内にある東屋で、

当番で詰める会員が一日、一〇〇部を限度に配布する。

③ ふじのくにフラワー&ガーデニングフェアの開催について

本年は静岡で開催したが、来年度は浜松アクトシティで開催される。出展は西部支部で対応する。

④ 静岡県優秀候補者について
⑤ 静岡県優秀候補者について



知事室で記念撮影

総務企画委員会が検討、報告のあった東部支部の株植松造園建設 植松静夫氏を推薦することを承認。

⑤ 後援会事務所から推薦依頼のあった県知事選挙では「石川嘉延」現知事を、参議院議員比呂例代表区では、岩井国臣現議員を全会一致で推薦することが決定承認された。

知事選推薦状は三月十五日の理事会閉会後、会長、副会長で持参した。

委員会だより

安全パトロールを実施

啓蒙労働委員会

啓蒙労働委員会は二月から三月にかけての仕事が集中する時期に東中・西部一斉に安全パトロールを実施した。

パトロールは、安

全会議の開催、作業主任者・責任者の標示、保安帽の着用、現場の整理整頓等二十三のチェック項目の入った「安全衛生点検表」を持参して現場を巡回。

東部支部は（有）



西部地区巡回状況

しずおか緑・花・祭用協会PRパンフレット作成等を協議

総務企画委員会

本年度六回目となった総務企画委員会を二月十五日に開き、四月二十一日開幕のしずおか緑・花・祭に出展する協会会員の庭園ガイド作成について協議した。

協会会員は単独・1人、共同等いろいろな形態で出展し、その数は三十六で、全体七十九の

2001年 ひよっかさい

しずおか緑・花・祭

4月21日(土)～25日(月) 平成13年4月21日(土)～25日(月) 会場：静岡市清水区 清水公園

(社)静岡県造園緑化協会会員

出展庭園ガイド

静岡県造園緑化協会

〒425-0854 静岡市清水区清水1-1-1 TEL:054-252-1111 FAX:054-252-1112

検討中のガイドマップ



前定実習

本年度は「よくな実態をふまえ、真の姿の公園緑地の維持管理、高齢者雇用等を視野に入れた対応策の検討が必要となっている。

シニアワークプログラム 造園緑化コース六会場終了 問題点もクローズアップ

技術委員会

国や県が高齢者雇用促進の一環として実施している各種の事業のうち、「造園緑化コース」を県シルバー人材センター連合会からの委託で実施してきたが

一月十五日からの袋井会場を最後に六会場すべてが終了し、百人余の終了生を送り出した。一会場十日間の講座が終了すると公共職業安定所主催の就職面接会が開催されるが、就

職したい終了生はあっても、今の造園建設業界では雇用する力はなく、就職斡旋はほとんど不調に終わってしまった。

一方では会員の中には、「二分先の商売敵の養成をするようなものだ」と当初から反対の声があった。

現実、シルバー人材の皆さんは、年々力を付け、市町村から発注される公園管理等は年々受給の傍らの低廉な価格で受注し、プロである協会々員は管理からの撤退を余儀無くされている。そして、管理現場は植栽目的も理解できないような

樹木の生理、形態を無視した管理がされているのも見受けられる。片や高齢者雇用促進の必要性も理解できない。

県小笠山総合運動公園を花の回廊に

西部支部(片桐利男支部長)では、二、〇〇二年W杯サッカーの舞台となる県小笠山総合運動公園の「コバ花の郷プロジェクト」実現に向けて大規模な奉仕作業を行った。
コバ花の郷プロジェクトは総合運動公園を畷木・畷花で彩り日本一の花の回廊にしよう



奉仕作業に勤む会員

苗木であつたので、市民が遊び半分で植栽できるような代物ではない。従つて奉仕作業も本格的な造園工事と何ら変ることなく、重機も活躍する作業となつた。

第一回植樹式は、協会西部支部、袋井市、静岡新聞社等が後援

とするもので、袋井商工会議所が提唱し、本年が植栽元年になる。
西部支部では二月十日の植樹式を前にした二月七日に、支部会員四十五社から六十人が参加し、時折小雨がぱらつく悪天候の中、苗木を植えるための穴掘りや肥料搬入、支柱設置などの仕事をを行った。市民参加の植樹式といつても植えるのは1mや2mの苗木でなく、3m前後の本格的な造園事業に使用されるサクカラ



奉仕作業風景

し二月十日に行われた。百二十人の一般献木者をはじめ、石川嘉延県知事、第十八代日本さくらの女王・安田蘭さんら二百人が出席し、公園内一角、一、五haに六十三種類千本の桜を植えた。

当日は、西野野作会長、乗松文男副会長、片桐利男支部長も招待され、記念植樹を行った。公園を管理する県を代表して石川知事は「佳民の皆さんが公園づくりに力を貸してくれ

る。静岡一というより、日本一、世界一の花の名所になるでしょう」と挨拶、そして造園緑化協会会員の奉仕活動に対する感謝の言葉も述べた。
このプロジェクトは平成十六年度までの五年間で、小笠山運動公園内の空き地や園内道路沿いを県民の畷木によつて花の回廊にしようとするもの。サクカラのほか、ウメ、モモ、ツバキ、サ

ザンカ、フジなど開花時期の異なるものも植え、季節を問わず花に出合うことのできる公園を目指している。
このプロジェクト実現には対象地は緩傾斜地で樹木にとつては理想的な地形であるが、土質が小笠山層のやせ地であることから、今後の土壌管理が最も重要なポイントになるものと思われる。



知事とさくら女王の記念植樹

水琴窟の秘密

(有)小澤庭苑研究所 小澤 達

水琴窟とは、云い得て、妙な表現であるとは、水琴窟に接した事のある方ならば、きっと、この癒しの、至極音とでもいえる、独特の水演反響音に對し、あまり異論となえない方、少ないのではないかと、私は考えますが、皆様は如何に感じられるでしょうか。

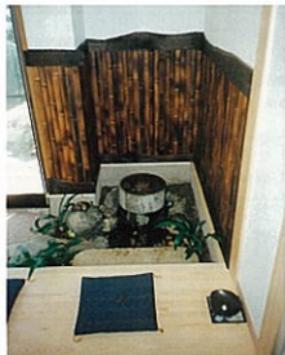
私が、この、存在を知ったのは、昭和三十九年頃、学生時代読んだ、上原敏二博士の「ガーデンスリーズ」中の記述によるものであった。私の当時の記憶に間違いが無ければ、そこには、江戸期の古書中、小堀遠州公が十八才の折りに踏踏の水門辺りを深く掘り下げて、上に竹筒子を乗せて、水の撥ねる音を聴いていた。そのようすを見て古田織部が公の非凡な才を見抜いて、驚嘆したとの記述があつてそれにより、公がこの原形の始祖と伝えられるとの事である。また、この原形よりの発展した形が洞水門であり、大別すると、3種類があるとされている。記述によれば、

水滴落下途中に、金属片等を設けて、瓶の内、一種の跳音を聴く形式の物。二つめは、単に伏瓶の底に穴を開け、管を通して洞下の水溜りに落下する水滴の反響和音を、聴く形式の物。三つめは伏瓶の内に台を設け、受け皿を置き、その反響和音の音質を高めた形式の物。これを受皿式洞水門という。

以上が、代表3種のものである。また、水琴窟の名を初めに耳にしたのは、十数年前、名古屋放送局系統テレビにて、水琴窟が放映され、その、魅惑的な美音を楽しく聞かせて頂いたが、結局、どこかの誰が考え、伝えた物か全く謎の存在物である。と、終了した為、局の担当者に注意したところ、承知しているが、作者不明の方が詰めて、視聴率が上がって高まるなどの論旨であきれてしまった。しか

し、考えてみれば、江戸期の造園古書中、作庭書で著名な「築山庭造伝後編」等は、江戸後期以降、作庭の定型化を流布させた権化書で在り、「名物燈籠記」にしても全く本物とはかけ離れた形姿の灯籠を图示して居て、古書中の記述は必ずしも正しいとはいへぬ事も在り、果たして、小堀遠州公始祖説を全面的に信じて良いか、正直な念はあるが、私達には、その如き、独創性のある茶人なればこそ、宜なる哉と、妙に納得して居る一人でもある。

京都の小堀家では、公の手に因る物とされ、図面も残存している。私は、其のコピーを所持しているが、とても、実際に音を奏しめる程の内容の物が出来るかどうか甚々、疑問に感じるところも多い。また、



玄関に設けられた水琴窟

洞水門の、発展形が、水琴窟と称されたのかも知れず、全く推測の域でしかありませんが、多分、伏瓶を使用し、かつ、受け皿を用いた形式が最も名称に、相応しい音のように、私には、経験上感じられる。故この形式が用いられた頃より自然発生的に出来た名称なのではと私には感じられます。

ともあれ以来、この名称は、私自身も氣に入つて呼称して居る次第です。

私が水琴窟を初めて造つたのは、東京、三鷹の後藤さん宅で、多分、昭和四十二年位の頃であつたと思いますが、形式は、最も、音響効率の良いと考へていた受け皿式の水琴窟であり、以来、横浜、浜松で、合計十二組程造つており、その内の九組は、受け皿式です。昨年、三方原の某家へ施工し、玄関脇にいた物も同形式です。玄関脇に作製している為もあつてか、夜半、二階にも、聴こえて来るとのこと。これは少しオーバーかなと考えますが、玄関前から三m以上離れているはずですが、来訪者の中には、オルゴールを置いてあるのか等と問う方がいるそうです。場所柄もあり、普通の人ならば五m位離

れていても、私は、聴くことが出来るのではと考えます。今回「水琴窟の秘密」をとり、構成材をよくよく吟味しては、全てを込めに計画し、し、コソコソと一人の人間の手により、最初から最後まで仕上げることが小規模な水琴窟では肝要と考えます。構成材の内、瓶は最も大切な役割を担っており、膨らみが大きく硬質な瓶が良い。底水は、程良い高さで常に排水出来、また、ある程度は、掃除の出来る構造を想定して、造る用意が必要です。水滴音が反響して伝導する論理に従えばよいと考えます。

私は、かねてより、水琴窟の音階数種を作製して、独特のメロディのような物が出来ないかと、夢を抱いておられます。例えば、国際園芸博覧会では、二十人以上喫茶出来るほどの大水琴窟内に音色の鑑賞が出来、上部空間は八方石壁の吹き抜ける空間とする。そして瞬時に上下可動な水滴ノズル等を設け、松風、竹風、瀧、潮落ち、せらぎ等、音の路を設計した、日本式庭園の存在を、面白いでは！と、考えますが、如何でしょうか？

お知らせコーナー

■建設業法による技術検定の実施予定(順不同)

● 願書販売(配布)開始 ● 申込受付期間 ● 実施日程(時期)

実施種別	資格名	試験研修名	13年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1	土木 施工管理技士	1-2級土木施工管理 技術検定試験	21 ●	1-15 ●				1 ●	15 ●	17★1級学科合格発表 17-21 ●	7 ●	16★2級合格発表	★平成14年12月 2級実地合格発表	
		2級土木施工管理 技術研修	21 ●	1-2(予定) ●			中旬	下旬		下旬	各地区ごとに実施		中旬	
2	建築 施工管理技士	1-2級建築施工管理 技術検定試験	2 ●	16-2 ●				10 ●	6 ●	19★1級学科合格発表 19-21 ●	21 ●	11 ●	★平成14年10月 1級実地合格発表	
		2級建築施工管理 技術研修	2 ●	16-2 ●	申込受付			上旬	下旬	下旬	★前期終了試験合格発表		上旬	
3	管工事 施工管理技士	1-2級管工事施工管理 技術検定試験				21(予定) ●	9-23 ●				2 ●	16 ●	19★1級学科合格発表 19-1 ●	7★2級合格発表 ●
		2級管工事施工管理 技術研修				21(予定) ●	9-23 ●	申込受付			上旬	研修実施		
4	電気工事 施工管理技士	1-2級電気工事施工管理 技術検定試験	2 ●	16-2 ●				30 ●	6 ●	19★1級学科合格発表 19-1 ●	21 ●	11 ●	★平成14年10月 2級実地合格発表	
		2級電気工事施工管理 技術研修						前期実施			後期実施			
5	造園 施工管理技士	1-2級造園施工管理 技術検定試験				7(予定) ●	24-7 ●				2 ●	16 ●	19★1級学科合格発表 19-1 ●	2 ●
		2級造園施工管理 技術研修						2級学科合格発表				研修実施		
6	建設機械 施工技士	1-2級建設機械施工 技術検定試験	10 ●	23-16 ●				17 ●		下旬	～下旬	中旬★1級 実地合格発表		
		2級建設機械施工 技術研修				上旬			23-16 ●	中旬	研修実施			

- 1.3.5. (財)全国建設研修センター / 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 ヲラスビル永田町ビル TEL 03-3581-0138(代) URL <http://www.jctc-f.or.jp>
 2.4. (財)建設業振興基金(試験研修本部) / 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-12-12 虎ノ門1丁目森ビル25階 TEL 03-5473-1581(代) URL <http://www.kensetsu-kikin.or.jp>
 6. (社)日本建設機械化協会(虎の門分室) / 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-13ヤマコビル TEL 03-3433-6141(代) URL <http://www.jcmanet.or.jp>

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新用)のお知らせ

造園建設業も下請け等で剪定等を行うとその枝葉の収集運搬に産業廃棄物処理の許可が必要になります。関連の講習会を開催しますので希望者は申し込んで下さい。静岡会場で受講を希望される場合には、(社)静岡県産業廃棄物協会にあらかじめ電話予約をしてから、受講申込書を送付して下さい。なお、他県で受講を希望される場合には、各受付期間に直接お電話でお問い合わせ下さい。

【電話予約開始日】

下記日程の講習会は、全て平成13年4月2日(月)午前8時30分より

【日程】

- 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会
平成13年6月8日(金)
- 産業廃棄物収集運搬課程(新規)
平成13年7月10日(火)～11日(水)
- 産業廃棄物収集運搬課程(新規)
平成14年1月16日(水)～17日(木)
- 産業廃棄物収集運搬課程(更新)
平成13年5月18日(金)
- 産業廃棄物収集運搬課程(更新)
平成13年11月20日(火)
- 産業廃棄物処分課程(更新)
平成13年11月20日(火)～21日(水)

【留意事項】

- 1.講習会の有効期間
新規許可講習会→5年間 更新許可講習会→2年間
- 2.受講者
(1)法人の場合……代表者若しくは、その業務を行う役員(監査役は除く)又は、業務を行おうとする区域に存する事業所の代表者
(2)個人の場合……本人
- 3.廃棄物処理法施工規則の改正(平成12年12月27日)により、「厚生大臣(当時)認定講習会」から財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが実施する表記の講習会に変わりました。
- 4.不明な点についての問合せ先
〒420-0853 静岡市追手町46番地 幸福ビル3F
社団法人静岡県産業廃棄物協会 TEL 054-255-8285

平成13年度県関係予算

平成13年度がスタートし、しずおか緑・花・祭も開催されます。緑・花・祭が終ると目は静岡国際園芸博覧会、小笠山総合運動公園、静岡空港、静岡ガンセンターへと向けられます。

一方、土木や農林関係の公共工事でも自然復元とかビオトープ等と称して造園建設業者の活躍できる機会が数多くあります。

また、富士山こどもの国をはじめ県営都市公園の管理費は(財)静岡県総合管理公社に委託して執行されます。

平成13年度で造園緑化に関する予算には次のような事業があります。

企舎部関係

国際園芸博覧会開催準備事業費助成	…614,000千円
(財)静岡国際園芸博覧会協会が行う出展助費、広報宣伝 浜名湖ガーデンパーク整備事業費	…4,513,000千円
浜名湖ガーデンパークの造成、植栽、建築工事等	
空港関連整備事業費	…2,661,000千円
空港建設に必要な周辺の道路、河川の整備	
自然環境保全対策事業費	…100,000千円
空港建設により影響を受ける自然環境の保全対策	

生活・文化部関係

国立公園施設整備費	…143,200千円
東海自然歩道、伊豆山稜線歩道の整備	
観光施設整備事業費	…1,412,000千円
県有観光施設の整備、維持管理、市町村等が行う観光 施設整備事業に対する助成	

環境部関係

自然ふれあい拠点整備費	…132,700千円
県立森林公園内に鳥類中心の自然情報発信拠点施設の整備	
環境緑化推進事業費	…215,423千円
花と緑にあふれる県づくり	
県民参加の森づくり推進事業費	…190,853千円
県民参加の森づくりの推進	
富士山環境保全推進事業費	…37,292千円
自然林の復元等	

健康福祉部関係

人にやさしいまちづくり総合支援事業費	…100,000千円
市町村、民間の行う人にやさしいまちづくりに対する 助成(ポケットパークの整備等)	
静岡がんセンター(仮称)整備推進事業費	…28,655,000千円
病院棟の建設工事ほか	

農林水産部関係

花咲くしずおか推進事業費	…27,000千円
花と緑にあふれた美しい県づくりの推進	
県営地域用水環境整備事業費	…252,000千円
水路・ため池等の整備保全及び水辺環境の整備	
地域環境整備事業費	…31,500千円
ため池等の自然生態系の保全整備	
水源地域整備費	…951,000千円
水源地域の森林整備	

防災林造成費	…130,000千円
海岸における飛砂、潮風害防止のための森林造成	
保安林整備費	…312,000千円
保安林の機能の維持強化のための森林整備	
環境保全保安林整備	…507,000千円
緑豊かな生活環境、自然環境保全のための森林の 総合的な整備	

土木部関係

花街道整備事業費	…50,000千円
間伐材利用のフラワーポットの設置	
河川維持費	…620,000千円
除草、塵芥処理等河川の維持管理	
ひとにやさしい地域づくり事業費	…192,000千円
福祉、医療、教育施設等の周辺河川の整備	
みずべプラン21推進事業費	…116,000千円
護岸等治水施設の整備と併せ、自然に親しめる みずべ空間の整備	
佐鳴湖環境対策事業費	…17,000千円
水辺環境保全のための植生浄化、追跡調査	

都市住宅部関係

都市計画街路事業費	…4,919,000千円
国庫補助を受けて行う街路整備	
社会環境基盤重点街路整備事業費	…2,229,000千円
重点的に早急な整備を必要とする街路整備	
第二東名アクセス街路整備事業費	…475,000千円
第二東名自動車道のアクセスとなる街路整備	
県単独街路整備事業費	…1,464,000千円
県管理の街路の整備	
都市計画街路事業費補助	…665,500千円
市町村実施の街路整備に対する補助	
都市公園維持管理費	…2,167,080千円
県営都市公園施設の維持、管理運営	
小笠山総合運動公園整備事業費	…8,289,000千円
アリーナの建築工事等	
小笠山総合運動公園関連整備事業費	…3,583,500千円
小笠山総合運動公園関連整備事業	
公園緑地整備事業費助成	…178,000千円
市町村が実施する公園整備事業に対する助成	
2001年しずおか緑・花・祭開催準備事業費	…280,000千円
「しずおか緑・花・祭」の開催等に要する経費	

話題の森

いよいよ静岡空港の法面緑化がスタートした。この法面緑化には、今まで協会として周辺林からの種子採取、ポット苗の養育、仮設道法面を利用しての試栽経験等、いろいろ協力させていたのだ。

このほどごく一部ではあるが法面が完成し、植栽工事が行われた。一年でも早く元の広葉樹林に復元することを願わずにはいられない。これから広大な法面が年々完成する。受注した会員の技術の見せどころである。

「緑の空港に」と植樹

島田 知事や小中学生ら630人参加



子どもたちと一緒に苗木を植える石川知事
—島田市湯日の静岡空港建設の建設現場

失われた森を復元

空港建設で失われた緑をみんなで復元させよう」と異は十一日、島田市湯日の空港本体のり面に地元約千六百五十本を植栽した。石川嘉延知事をはじめ建設地の島田市と藤原郡藤原町、隣接する岡部金谷町、吉田町の計一市三町から市長、県議会議員、小中学生、地域住民ら六百三十人が参加した。

「空港の森ルネッサン」又作戦「みんなであつこう緑の空港」と銘打った植樹イベント。石川知事は「三十年待たず元の緑に負けないような緑の空間、緑の森になると確信しています」とあいさつした。

植栽したのはヤマモモ、ナナミノキ、アラカシなど十二種。異が空港建設地と周辺地から樹木の種子を採取し、空港用地内の栽培プラントで育てたポット苗木で、一人

二—三本を植栽した。のり面は約八千七百平方メートルのり面には、工事で伐採した樹木のチップを利用したりサイクルたい肥と、工事の養生土を混ぜた土が敷き詰められた。

石川知事も移植作業と一緒に苗木を植え付け、植栽のり面が完成することに行い、参加者も関係市町だけでなく、全県に広げていく計画。

静岡新聞 平成13年3月12日夕刊



お知らせ

協会が平成十二年度がスタートした。会員にとっては一大イベントである「しずおか緑花祭」も四月二十一日に開催します。

出展した、しなやかに係らず全会員が一日ずつ協会出展の庭「歩いて触れる詩歌の心」に訪れることになっていきます。東屋に詰めて、庭遊り相談や庭の植物解説等にあたりたいいただきます。

当番日は支部長から連絡がありますのでよろしくお願ひします。

編集後記

本号は緑花祭特集号のつもりでしたが、何だか知事特集号のようになっていました。それだけ、知事出席の行事にいろいろ係わってきたということでしょう。

緑花祭は現場の進捗が遅れ本号ではあまり紹介できませんでしたが、次の夏号では「緑花祭を終えて」ということで特集を組んでみたいと思います。

会員の「我が社の自慢」の投稿をお待ちしております。